

【証券コード：6728】

# 決算説明資料

2020年度（FY2020）

第3四半期（累計）（2020年7月～2021年3月）

2021年5月14日

株式会社 アルバック

◆将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見直しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見直し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆本資料における表示方法について

(特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです)

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

3Q (累計)：第3四半期連結累計期間

3Q：第3四半期連結会計期間

## 通期業績予想・配当予想の修正

- 半導体・電子関連の受注高・売上高増加等により、通期業績予想を上方修正
- 配当予想を70円から80円に増額
- 3Q累計の受注高は前年同期比増加。売上高は19年度受注減少の影響により前年同期比減少するも、今上期を境に増加基調。来期以降も増加見込み

	通期業績予想修正		3Q (累計)
	修正予想	当初予想比	実績
受注高	1,850億円	+50億円	1,331億円
売上高	1,800億円	+150億円	1,285億円
営業利益	165億円	+15億円	102億円
当期純利益	125億円	+25億円	83億円
配当	80円	+10円	

3

FY2030PSN20210514J

© 2021 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

本日、3Qの決算開示とともに、半導体電子関連の受注高・売上高増加等による、通期業績予想の上方修正を発表しました。

受注高50億円増加、売上高150億円増加、営業利益15億円増加、当期純利益は25億円増加の見込みです。

また、配当予想を70円から80円に増額しました。

3Q累計の受注高は、前年同期比増加し、1,331億円となりました。

売上高は、19年度の受注高減少の影響により、前年同期比減少しましたが、半期ベースでみると上期を境に増加基調です。来期以降も半導体・電子・FPDなどを中心に増加見込みです。

## 2020年度通期業績予想の上方修正

- 半導体・電子関連の受注高・売上高増加等により、通期業績予想を上方修正
- 配当予想を70円から80円に増額

	(参考) 2019年度 通期実績	3Q(累計) 実績	2020年度			【単位：億円】 2020年度	
			当初予想	修正予想	当初予想比 (差異・増減%)	上期 実績	下期 修正予想
受注高	1,566	1,331	1,800	<b>1,850</b>	50 2.8%	910	<b>940</b>
売上高	1,854	1,285	1,650	<b>1,800</b>	150 9.1%	838	<b>962</b>
営業利益	160	102	150	<b>165</b>	15 10.0%	58	<b>107</b>
率	8.6%	<b>7.9%</b>	9.1%	<b>9.2%</b>	+ 0.1 pt	7.0%	<b>11.1%</b>
経常利益	181	101	160	<b>165</b>	5 3.1%	60	<b>105</b>
率	9.7%	<b>7.9%</b>	9.7%	<b>9.2%</b>	- 0.5 pt	7.2%	<b>10.9%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	108	83	100	<b>125</b>	25 25.0%	45	<b>80</b>
率	5.8%	6.4%	6.1%	<b>6.9%</b>	+ 0.9 pt	5.4%	<b>8.3%</b>

4 FY203QPSN20210514J  
© 2021 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

業績予想の修正内容は、

半導体・電子関連の受注高・売上高の増加等により、年間受注高を1,800億円から1,850億円に50億円増加、売上高を1,650億円から1,800億円に150億円増加、営業利益を150億円から165億円に15億円増加、当期純利益を100億円から125億円に25億円増加させています。

営業利益率は、当初予想9.1%を上回る9.2%、当期純利益率も当初予想6.1%を上回る6.9%となる見込みです。

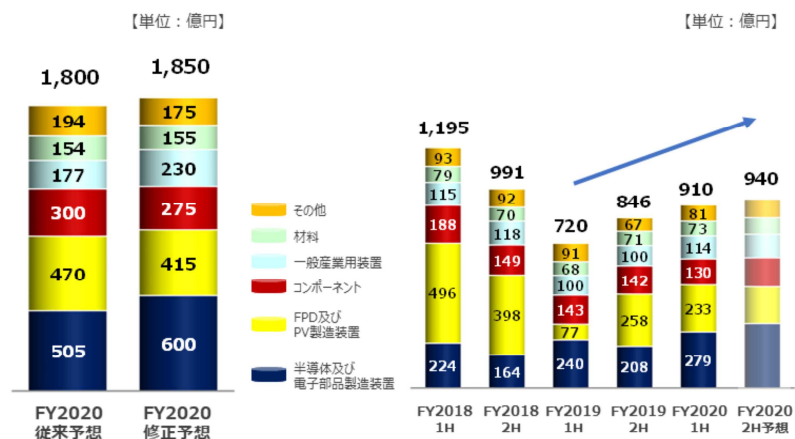
なお、3Qに株式売却益25億円を計上しております。

右表で、上期・下期を比較しますと、受注高は上期910億円から下期940億円に、売上高は838億円から962億円に、営業利益も58億円から107億円に増加する見込みです。

下期の営業利益率は11.1%と大幅改善を見込んでいます。

## 2020年度通期業績予想の上方修正（受注高）

- 半導体・電子関連の投資活発化（+95億円）により、受注高を1,800億円から1,850億円に上方修正
- 2019年度上期を境に受注高は増加



### 半導体・電子部品製造装置

- パワー・オプト・通信デバイス等電子関連が日本・中国を中心に好調で当初予想比約2割増加を見込む
- 半導体はメモリの投資再開・ロジック投資継続により、当初予想比約2割（上期→下期：約4割）増加を見込む
- 半導体・電子とも来期以降も増加見込み

### FPD・PV製造装置

- スマートフォン用OLED投資(スパッタ)・大型TV用LCD投資継続(来期も継続)
- IT用・TV用等大型基板OLED量産開発投資も対応

5

FY203QPSN20210514J

© 2021 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

受注高の上方修正について市場動向も含めご説明します。

左のグラフの青い色の半導体・電子は、当初予想の505億円から600億円に95億円増加する見込みです。

電子部品関連は、パワーデバイス・オプトデバイス・通信デバイス等が日本・中国を中心に好調です。

半導体・電子600億円のうち350億円程度を電子関連が占める見込みで、当初予想比約2割の増加を見込んでおり、来年度も引き続き増加傾向にあると考えています。

半導体はメモリの投資再開・ロジックのメタルハードマスク関連の投資継続により、前年比3割程度受注が増加すると見込んでいます。

半導体・電子600億円のうち250億円前後が半導体関連の受注となる見込みで、当初予想比2割程度の増加を見込んでいます。

前年比・当初予想比で増加する主な要因はメモリ関連の伸びとなっています。

上期と下期を比較すると、DRAM・NANDの投資活発化により、半導体関連全体で約4割増加する見込みです。

来年度も今年度比3割を超える受注増加が見込まれるのではないかと見ていますが、具体的な金額等は現在精査・検討中であり、8月にご説明させていただきます。

FPD関連は、期初に計画策定した際は、上期の大型TV用LCDのまとまった追加投資と下期のスマートフォン用OLEDの蒸着2ラインを中心に受注を見込んでいました。

今回、まだ確定はしていませんが、OLED蒸着2ラインの受注が来期にずれの可能性があるのでからFPDの今期受注予想を減額修正しています。

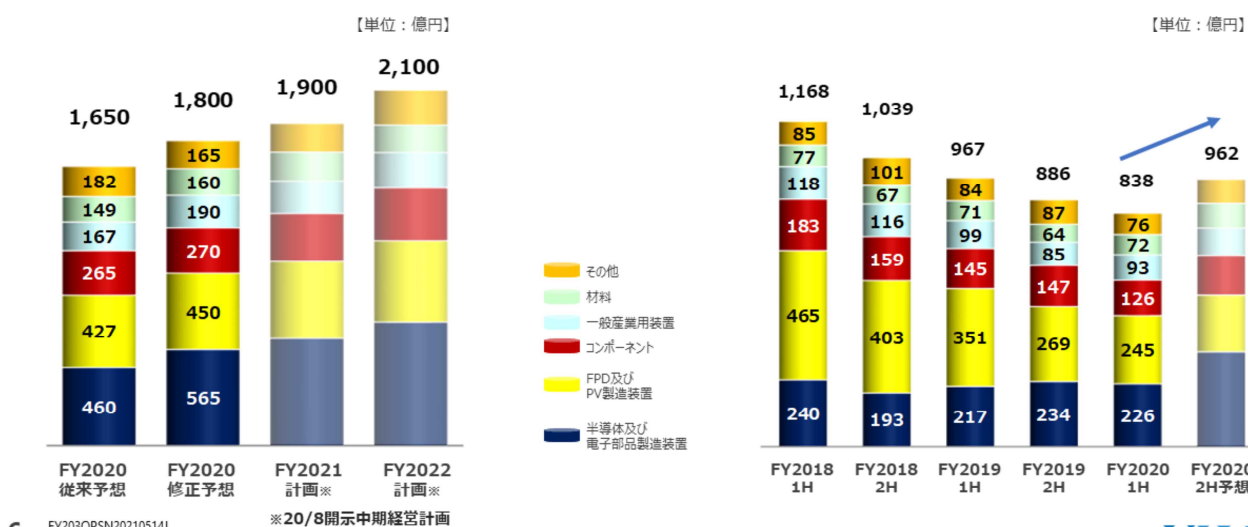
一方、新型コロナウイルスによる巣ごもり需要等により、タブレットやPCなどIT用や大型TV用のLCD投資案件が増加しました。またスマートフォン用OLEDのバックプレーン用スパッタ装置の受

注について競合との関係で堅めに見ていましたが、高精細化のためにパーティクル（微細なゴミ）が少ないことで評価が高まり受注となりました。  
当初予想に対して、LCD投資やOLEDのバックプレーン受注が増加する見込みで、OLED蒸着装置2ラインの来期への期ズレの可能性を見込んでも415億円の受注予想となりました。

来年度についても、巣ごもり需要に対応したタブレットやPCなどIT用のLCDパネル投資が継続し、大型TV用の追加投資も見込まれ、LCD関連の投資は今年度以上となる可能性もあると考えています。  
スマートフォン用OLED投資も、各社が継続的に投資を予定しており、バックプレーン用のスパッタ装置等の受注も見込めると考えています。  
また、大型基板のOLEDについても量産開発が進められており、来期以降、ビジネスチャンスが広がると考えています。  
来期は蒸着装置2ラインが期ズレした場合、本年度を大きく上回る計画になるのではないかと考えています。  
右のグラフに半期推移を掲載していますが、19年上期を境に受注高は増加してきています。

## 2020年度通期業績予想の上方修正（売上高）

- 半導体・電子関連の投資活発化により、売上高を1,650億円から1,800億円に上方修正
- 今上期を境に増加見込み
- 来期以降も半導体・電子を中心に成長



売上高につきましては、1,650億円から1,800億円に上方修正しました。

受注高と同様、半導体・電子が105億円増加しています。

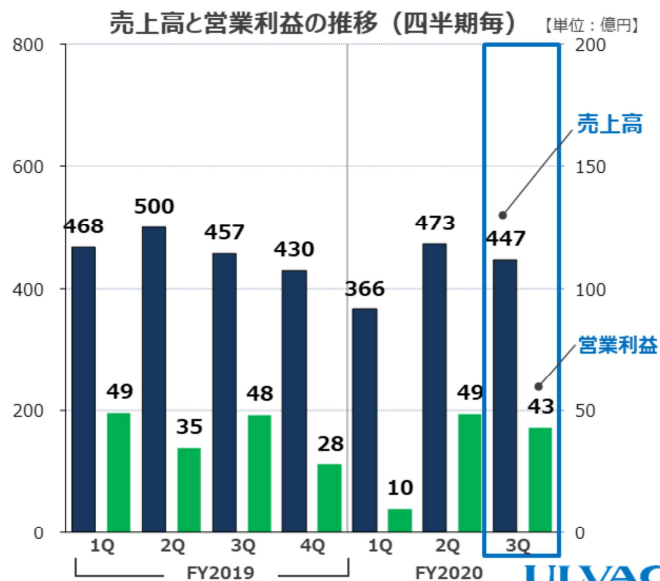
右のグラフのとおり、今上期を境に増加基調にあります。

左のグラフには、昨年8月に発表した中期経営計画の売上高の計画数値をそのまま記載しています。来年度以降につきましては、8月の開示に向けて現在精査中ですが、来年度は当初計画の1,900億円を上回るのではないかと考えております。

## 2020年度3Q（累計）連結業績概要

- ・ 受注高：半導体・電子、FPD関連を中心に前年同期比増加
- ・ 売上高：19年度の受注高減少の影響により前年同期比減少するも増加基調
- ・ 営業利益：売上高減少により、前年同期比減少

【単位：億円】	2019年度	2020年度	対前年同期 増減率
	実績	実績	
	3Q(累計)	3Q(累計)	
受注高	1,193	1,331	11.6%
売上高	1,425	1,285	-9.8%
売上総利益	394	367	-6.9%
率	27.6%	28.5%	0.9pt
販管費	262	265	1.2%
営業利益	132	102	-23.1%
率	9.3%	7.9%	-1.4pt
経常利益	151	101	-32.7%
率	10.6%	7.9%	-2.7pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	110	83	-24.8%
率	7.7%	6.4%	-1.3pt



7

FY203QPSN20210514J

© 2021 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

続いて、3Q累計の連結業績についてご説明します。

受注高は、半導体・電子、FPD関連を中心に増加し、前年同期の1,193億円から1,331億円に増加しました。

売上高は、19年度の受注高減少の影響により、前年同期の1,425億円から1,285億円に減少しましたが、半期ベースで見ますと上期を境に増加基調にあります。

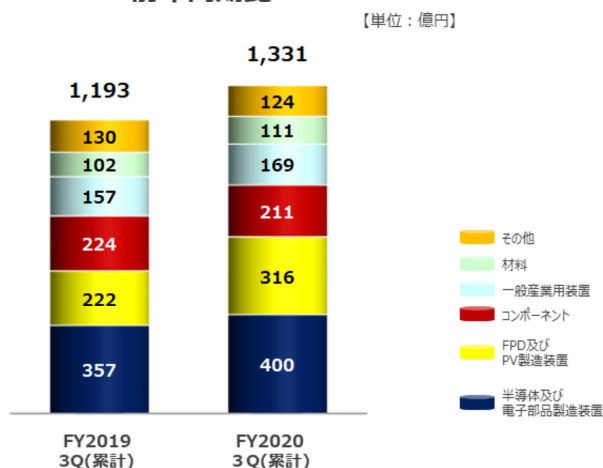
営業利益は、売上高減少により、前年同期の132億円から102億円に減少しています。



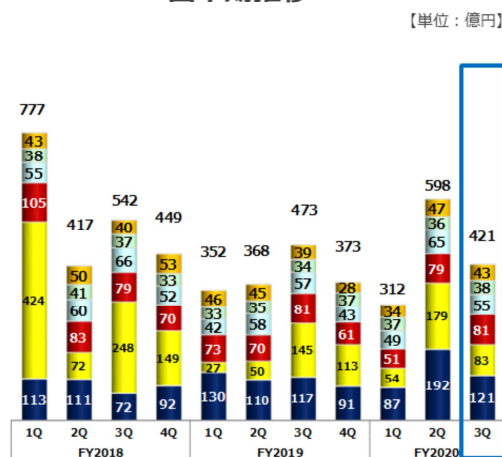
## 2020年度3Q（累計）連結業績概要（品目別受注高）

- 3Qは2Q受注前倒し約100億円の反動で減少するも、3Q累計では計画通り進捗、前年同期比増加
- 半導体・電子：メモリ・パワーデバイス等の投資活発化により前年同期比増加
- FPD：スマートフォン用OLED、大型TV用LCD投資等が堅調で前年同期比増加

前年同期比



四半期推移



8

FY203QPSN20210514J

© 2021 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

品目別の受注についてご説明します。

右の四半期推移をご覧くださいと、2Qが598億円と高くなっています。これは3Qに予定していたFPD関連約70億円、電子関連約30億円等の受注前倒しが合計で約100億円あったことによります。

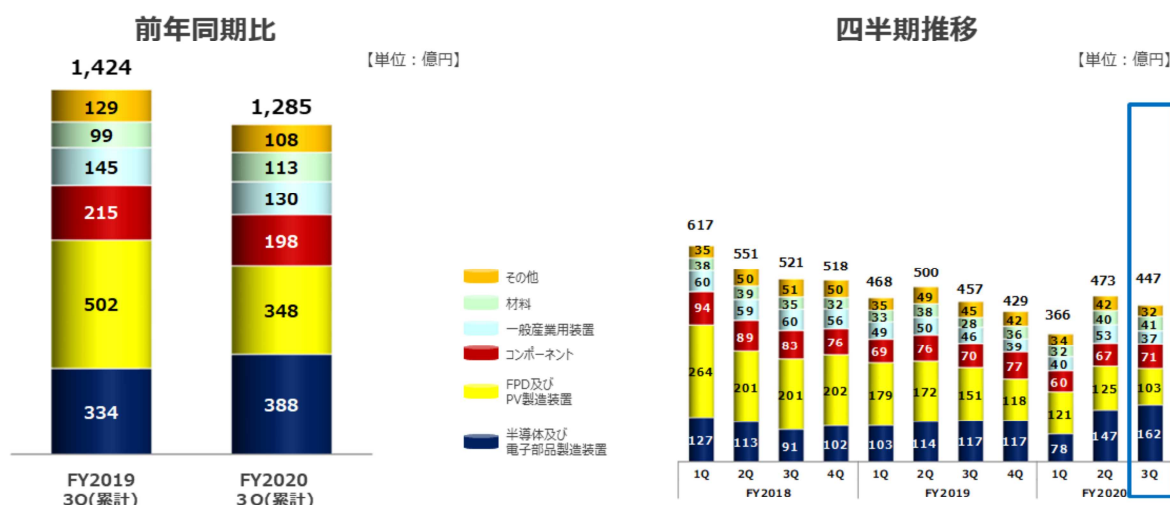
3Qは前倒しの反動による減少となっておりますが、仮に3Qから2Qへの前倒しが無ければ2Q・3Qともに500億円前後の受注となります。

左のグラフで3Q累計をご覧くださいと、前年同期比増加しており、計画通りの進捗となっております。

青色の半導体・電子はメモリ・パワーデバイス等の投資活発化により357億円から400億円に、黄色のFPD関連はスマートフォン用OLEDや大型TV用LCD投資等が堅調だったため222億円から316億円に増加し、連結全体で1,193億円から1,331億円に増加しました。

# 2020年度3Q（累計）連結業績概要（品目別売上高）

・売上高は19年度の受注減少の影響により前年同期比減少するも、1Qを境に増加基調



9

FY203QPSN20210514J

© 2021 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

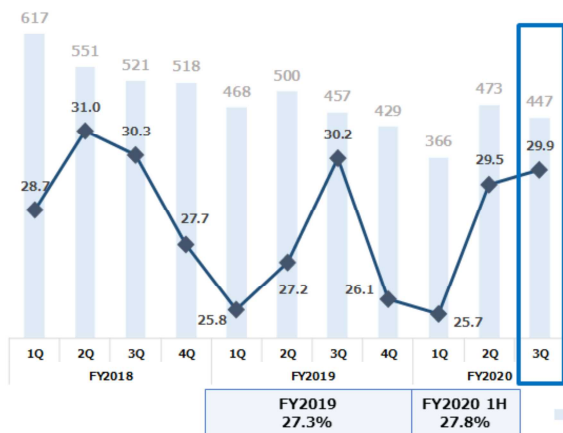
売上高は19年度の受注高減少の影響により前年同期比減少しましたが、1Qを境に増加基調にあります。連結全体として売上高が減少する中、利益率が高く成長事業と位置付けている半導体・電子は増加基調となっています。

## 2020年度3Q 連結業績概要（利益率）

- 売上総利益率は19年度27.3%に対し、上期27.8%、3Q29.9%とモノづくり改革の成果も実現
- 営業利益率は売上減少により低下していたが、今1Qを境に改善

### 売上総利益率

【単位：%】



### 営業利益率

【単位：%】



売上高

10 FY203QPSN20210514J

© 2021 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

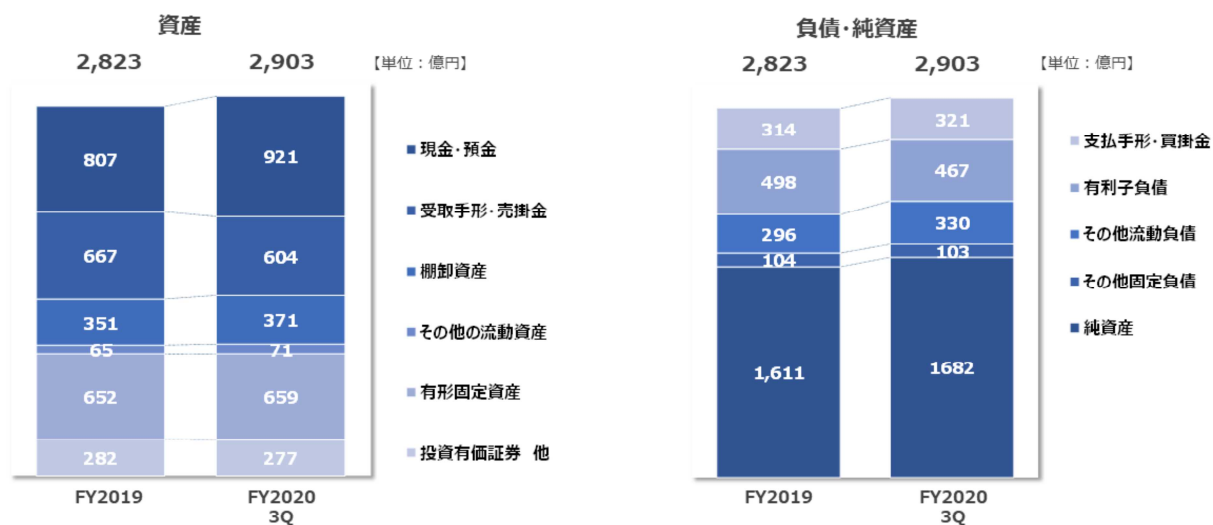
売上総利益率は19年度27.3%に対し、1Qが売上減少により大幅に低下したものの2Qは29.5%に改善、上期としては27.8%となり、3Qはさらに29.9%に改善しました。

モノづくり改革の成果も実現し始めております。

営業利益率は、売上減少により低下していましたが、1Qを境に改善傾向にあります。

## 2020年度3Q 連結業績概要（連結貸借対照表）

- ・ 現金・預金114億円増加、受取手形・売掛金63億円減少
- ・ 純資産71億円増加、自己資本比率55.7%



11 FY203QPSN20210514J  
© 2021 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

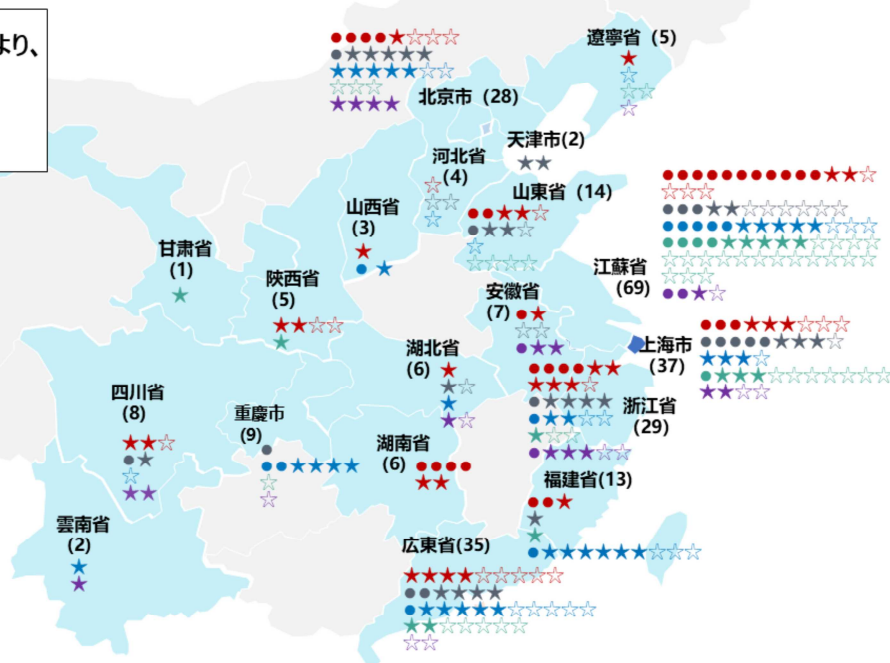
ULVAC

貸借対照表では、現預金が114億円増加し、受取手形・売掛金が63億円減少しました。  
純資産が71億円増加し、自己資本比率は55.7%となっています。

## トピックス① 活発化する中国電子関連投資（成長事業の強化）

- エレクトロニクス分野の国産化政策により、商談活発化
- 営業技術サポート体制強化

- パワーデバイス (SiC/Si-IGBT)
- MEMS センサー
- 通信 (SAW/BAW等)
- パッケージング (WLP/PLP)
- 光学 (車載電子)
- 受注先
- ★ 引合先
- ☆ 取引先候補



12 FY2030QPSN20210514J  
© 2021 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ここからは今期中期経営計画に関連したトピックスについてご説明します。

中国で活発化しているエレクトロニクス分野について、地方毎の商談をマップに整理しました。昨年の8月から更に70件程度増加しています。

中国の国産化政策により、江蘇省、浙江省、広東省など沿海地域を中心にパワーデバイスや通信デバイス等の投資が活発化しており、営業技術サポート体制も強化し実績につなげております。昨年の8月以降で20件を超える新しいお客様からの受注に結び付いており、成長事業と位置付けている半導体・電子分野の強化につながっています。

## トピックス② 複合モジュール型成膜装置「Geminiシリーズ」リリース（モノづくり力強化）

- ・複数の異なるプロセスモジュールを同一搬送コアに搭載
- ・構成部品の共通化・スペア部品低減・同一操作画面化 ⇒ 効率化

### 組合せ可能なプロセス

スパッタリング  
エッチング  
アッシング  
CVD



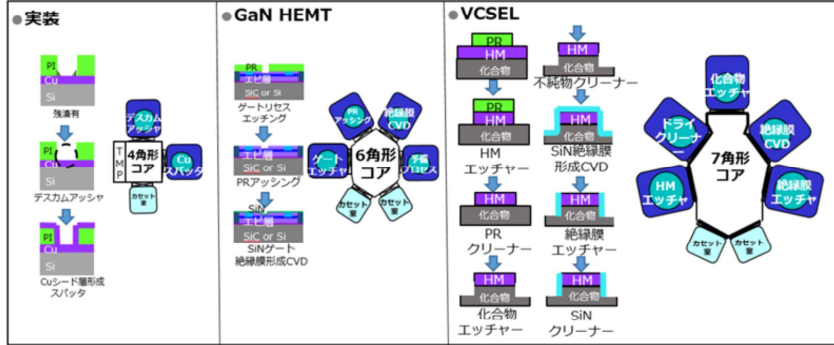
### 対応基板サイズ

最大200mm基板  
最大300mm基板



### アプリケーション例

パワーデバイス シード&メタル層形成  
光学デバイス VCSEL加工  
MEMSセンサー PZT成膜&加工  
高密度実装 Descum  
通信デバイス 絶縁膜成膜&加工



13 FY203QPSN20210514J

© 2021 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

モノづくり力強化の一環として、電子関連の複合モジュール型成膜装置をリリースしましたのでご紹介します。

スパッタやエッチング、アッシング、CVDなど複数の異なるプロセスモジュールを同一搬送コアに搭載できるGeminiシリーズをリリースしました。

モジュール化により、構成部品の共通化、スペア部品低減、同一操作画面化などお客様の利便性を増しながら、コスト改善にもつなげていきます。

## トピックス③ 韓国グループ会社再編（グループ経営効率強化）

韓国の洗浄・表面処理・ボンディング・部品加工等のサービス事業を行っているグループ4社を合併

### 【目的】

- 装置に関連するサービス事業の一体化・窓口一本化によるシェア拡大
- 組織のスリム化・効率化

### 【連結業績への影響】

- 子会社間の合併であり軽微



14

FY2030PSN20210514J

© 2021 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

最後に、「グループ経営効率化」として、韓国のグループ会社4社を再編・統合しました。

韓国で洗浄・表面処理・ボンディング・部品加工等を行っているグループ4社を合併し、装置に関するサービス事業の一体化・窓口一本化、組織のスリム化・効率化を進めました。

# さまざまな業界・用途で貢献するアルバックの真空技術



Automobile  
自動車



Semiconductor  
半導体



Flat Panel Display  
フラットパネルテレビ



Photovoltaic  
太陽電池



Food Processing  
食品



Aircraft  
航空



Bio  
バイオ



Smart Phone  
スマートフォン



Magnetic Device  
磁気デバイス



Home Appliance  
家電製品



Aerospace  
宇宙産業



Pharmaceutical  
医療・薬剤



Wearable/VR  
ウェアラブル/VR



Power Device  
パワーデバイス



MEMS Device  
MEMS デバイス



Architectural Glass  
建材・スマートガラス



Optical  
光学



Flexible  
フレキシブル



Packaging Materials  
パッケージング



Battery  
バッテリー



真空テクノロジーで /  
/ 「つくる」をつくる  
**ULVAC**